

(平成 28 年 7 月 15 日 高度教養教育・学生支援機構 出版・図書・資料委員会)

1. 原稿作成にあたっては、ワープロにより作成し、以下の点に留意すること。
 - 1) 原稿の長さは原則として、図表や写真等を含め、本誌専用の原稿作成フォーマット（日本語の場合、1 ページが 24 字×40 行の横書き 2 段組）で最大 14 ページとする。
 - 2) 原稿は A 4 判の上記フォーマットで作成する。図表・画像が 1 段組になる場合は、その部分を横書き 1 段組にしてもかまわない。ただし、その場合でも図表等を含め、最大 14 ページ以内とする。なお、文章作成においては、カンマ（,）とピリオド（.）の句読点方式を採用すること。
 - 3) 原稿には所定の位置に要旨（日本語論文の場合は 400 字、欧文の場合は 300words）を記載すること。
 - 4) 図表、写真はそのまま印刷できる明瞭なものとし、簡潔な説明を加える。刷り上がりは白黒である（カラー印刷やトレーシングを必要とするものは不可）。
 - 5) 表には上部、図及び画像には下部に標題を付し、左のマージンに行頭を合わせる。
 - 6) 見出しは、ポイントシステムによって記載し、全角洋数字とし、項までとする。
(例) 第 1 章 → 1.
第 1 章第 2 節 → 1. 2
第 1 章第 2 節第 3 項 → 1. 2. 3
 - 7) 原稿の執筆者名及び所属は空欄とし、掲載希望分類名及び原稿タイトル、要旨を記した後、直ちに本文を記すものとする。
2. 引用文献の提示方法は、原則として次の形式に従うこと。
 - 1) 補注は、当該箇所の右肩に上つきで、1), 2) のように番号で示し、本文のあとに番号順にまとめて記載する。
 - 2) 引用注は、該当する文章中に（著者の姓_刊行年:_始頁_終頁）として記載する（「_」は半角スペース, 「:」は半角コロン, 「-」は半角ハイフンをあらわす）。終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は省略する。
(例) (山本 1989: 56), (齋藤 1990b: 45-76)
 - 3) 文献が共著の場合は、「第 1 著者・第 2 著者」の順に記載し、ナカグロでつなぐ。3 名以上の場合は、「第 1 著者ほか」として「ほか」をつける。編書の場合は、「編者名編」として「編」を入れる。監修の場合は、「監修者名監修」として「監修」を入れる。英文による 3 名以上の共著の場合は、「et al.」を、一人の編書の場合は「ed.」, 2 名以上の編書のときは「eds.」をつける。

(例)「…が明らかにされている (山田 1990: 165-9, 佐藤 1993: 259-61).」

- 4) 翻訳書, 翻訳論文の場合は, 「原著者の姓_原書の刊行年=訳書の刊行年」を原則とし, 頁数の記載にあたっては, 訳書の頁を用いる場合は, 「原著者の姓_原書の刊行年=訳書の刊行年: 始頁-終頁」, 原書を参照して独自に訳出した場合には, 「原著者の姓_原書の刊行年: 始頁-終頁」とする.

(例)「…と論じている (Smith 1930=1996: 51-64).」

3. 参考・引用文献の記載は, 原則として次の形式に従うこと.

- 1) 引用の根拠となる文献は, 補注のあとに著者姓のアルファベット順, 同一著者の場合は刊行年順, 同一刊行年の場合は a,b,c を刊行年に付記し, 記載する (「_」は半角スペース, 「.」は半角ピリオド, 「,」は半角コンマ, 「-」は半角ハイフンをあらわす).

①図書の場合:

著者姓名_刊行年_書名_版表示_出版社.

(例) 比較教育学会編. 2007. アジアの教養教育. 太平洋出版.

山本耕史. 2015a. 幸せな結婚と家庭生活. 堀北書房.

②図書の一部の場合:

著者姓名_刊行年_“章の見出し”_書名_編者名_版表示_出版社_始頁-終頁.

(例) 齋藤隆. 2007. “ドジャーズの青い風”. アジアの教養教育. 比較教育学会編. 太平洋出版, 43-76.

③雑誌・紀要の1論文の場合:

著者姓名_刊行年_“論文名”_雑誌名_巻数_始頁-終頁.

(例) 吉田文. 2016. “教養教育の学習成果の測定は可能かー2000年代のアメリカの取り組みー”. 東北大学高度教養教育・学生支援機構紀要. 第2号, 3-15.

- 2) ウェブサイト, ウェブページ, ブログの場合:

著者姓名_刊行年_“ウェブページの題名”_ウェブサイトの名称_入手先 URL_(入手日付).

(例) Yamasaki, Izumi et al. 2006. “Labor Market Outcomes of the Evacuees of the Great East Japan Earthquake”. *New ESRI Working Paper* No.37, Cabinet Office. http://www.esri.go.jp/jp/archive/new_wp/new_wp040/new_wp037.pdf, (2016-7-13).

4. 参考・引用文献の記載が, 上記の形式によることが, 専門分野の性格上困難な場合には, 当該分野における標準的な形式によることができる.